

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながる授業改善

①「夏」を一番感じた句 名前【 】

盛夏の日 プールに響く 水の音

【場所】：学校の外プール
【情景】：33℃はあるであろう夏の真っ盛りの昼間。涼しいプールから上がって順番を待っているが、みんなが泳いでいる水の音を聞くだけでも涼しく感じる。「盛夏の日」と「プール」の気温の差とともに、暑い中で涼しく感じる爽快感を表していると感じた。

14:57 7月10日
順番を待つという発想が良いと思いました。その待っているときに爽快感を感じる...というのがいいと思いました

14:58 7月10日
私も待っているという発想が新しくいいなと思いました。他人が出した水の音という点には共感です。

15:00 7月10日
気温の差とともに涼しく感じる爽快感というところが共感を感じた

②言葉のチョイスがおもしろい句 名前【 】

夏休み 課題終わらず 夏終わる

情景①：小学生が、夏休みに先生に出された大量の宿題を始業式の前日に大急ぎでやっている様子が想像できる。

情景②：夏休みに遊びすぎて、宿題を後回しにしていたらいつの間にか前日になっていた。ものすごい大急ぎで、宿題をやっていたけれど量が多すぎて終わりそうにない。そして、夜遅くまでやっていたら途中で寝ってしまった。目が覚めると鳥が鳴いていて朝になってしまったことに気づき絶望している。

14:49 7月10日
最後に鳥が鳴いていて、朝が来たしまったというオチの想像が面白いですね。また、小学生の計画性のなさを書いているのがいいと思います。

15:00 7月10日
鳥が鳴いているというオチの想像が面白いという点に共感できました。

14:52 7月10日
前日に大急ぎで宿題をやったけれど寝てしまい気がつく朝だったというのが面白くていいと思いました。

③躍動感を感じる句 名前【 】

麦茶飲み カランカランと 心地よい

クーラーをつける少し前の、暑いな、と感じ始めた時を想像した。喉が乾き、何度もコップに手を伸ばしている。

情景：水の入った麦茶のコップが机においてある様子が浮かんでくる。「カランカラン」は水が動いた音だと思い、コップに手を伸ばすたびに音が鳴っている光景が想像できる。また、その音が暑い夏を少し涼しくさせている。

14:48 7月10日
何度もコップに手をのびしているという情景は私にはなかったので面白いなと思いました。また、たしかなとも思いました。

14:50 7月10日
カランカランという音から想像できることだけでなくその音からどのような気分になったのかまで鑑賞してすごいなと思いました。

14:54 7月10日
机に置いてあるという考え方が自分にはなかったけど、確かに共感でき

【学習内容「俳句を味わう」】 (国語科)

赤字：工夫点

- ①学級全員が1人1句の俳句を作成する。
- ②Googleフォームを用いて、学級で代表となる3句を選句する。
- ③選句された俳句が記載されたGoogleスライド上において、情景を想像し、個人ごとに書き込む。
- ④Googleスライドのコメント機能を用いて、互いに俳句や俳句の読み取りについて自身の考えを書く形で意見の交流を行う。
- ⑤学級全体で読み取り方の共通点や相違点を共有する。

【生徒の変容】

GIGA端末を用いることで、誰と、どのように意見交流を行うか選び取り、多くの級友の意見を目にすることで、自らの学びを深めることができるようになった。